

いつもなにかがあたらしい—

東京ニューシティ管弦楽団 第90回定期演奏会

La musique de France

～フランス音楽の扉を開く～

ラヴェル

マ・メール・ロア

Maurice Ravel / Ma mère l'oye

ジョリヴェ

フルートと弦楽合奏のための協奏曲

André Jolivet / Concerto pour flûte et cordes

ラヴェル

管弦楽のための舞踏詩「ラ・ヴァルス」

Maurice Ravel / La Valse, Poème choréographique pour orchestre

ムソルグスキー

組曲「展覧会の絵」(ラヴェル版)

Mily Balakirev / Tableaux d'une exposition (Ravel version)



指揮

アンドレイ・アニハノフ
Andrey Anikhanov



フルート

小山 裕幾
Yuki Koyama

2013年9月14日(土) 14:30開演
13:30ロビー開場
東京芸術劇場コンサートホール
(池袋駅西口より徒歩2分)

料金 (全席指定) S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円/リラックスシート:3,000円
学生半額(25歳以下、S席を除く) 小中高生1,000円(保護者同伴S席を除く)
シニア割10%引き(60歳以上) 友の会会員15%引き(随時入会受付 年会費500円)
※上記割引については事務局までお問い合わせ下さい。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。ご了承ください。

【主催】一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団

■お申し込み・お問い合わせ
東京ニューシティ管弦楽団事務局(土・日・祝を除く10時から18時)
チケットダイヤル:03-5933-3266
FAX:03-6766-3782

ホームページからお申し込みいただけます。 <http://tnco.or.jp>

チケットぴあ(Pコード:200-419) TEL:0570-02-9999
<http://www.t.pla.jp>

東京芸術劇場ボックスオフィス TEL:0570-010-296 <http://www.geigeki.jp/t/>
東京文化会館チケットサービス TEL:03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>
イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&ケータイ)

6月10日(月)発売開始
ネットからは6月9日(日)発売開始



文化芸術振興補助金
(トップレベルの舞台芸術創造事業)



M-ecolnat
企業メセナ協議会
助成認定活動

白いキャンバスが次第にさまざまな色で埋め尽くされて行く。 「フランス音楽」という名の、極上の音の展覧会。

シェフ
料理人オーギュスト・エスコフィエ (1846-1935) がフランス料理を世界に冠たる「文化」に仕立て上げたとはいえ、彼以前の歴史もあれば以後の革新もまたフランス料理であるように、一口に「フランス音楽」と言っても私たち一人ひとりの受け止め方はさまざま。クラシック音楽の世界に限っても、ルイ14世の耳を和ませたクーブランの典雅な響きも、独特な音楽語法を使った20世紀のメシアン作品もフランス音楽の一部なのだ。

そんな茫洋としたフランス音楽の世界をラヴェルの音楽を「扉」として開けてみよう、というのが東京ニューシティ管弦楽団第90回定期演奏会の目論見だ。案内役はエネルギッシュな活動を続けるロシアの指揮者アンドレイ・アニハーフ。

さて、今回の定期演奏会のプログラム、漫然と聴けば、フランス音楽の持つ魔法にまんまと騙される。華やかだ、濃密だ、しゃれている……フランス料理のコースメニューのように、確かにその通り。しかし、ひとたびその素材を知れば、これほど知的興奮に満ち、美味しさが倍増する曲目もない。ラヴェルとともに20世紀初頭にバレエ音楽の極致を示したストラヴィンスキーがラヴェルを「スイスの時計職人」と評したように、その精緻な音楽作りは、凝りに凝っているのに、そんなことを微塵も感じさせない、まさに職人芸。思わず耳をそばだててしまうマザー・グース童話「マ・メール・ロワ」、ウィンナ・ワルツへの讃美がやがては音の洪水となって行く「ラ・ヴァルス」。そして、ムソルグスキーのピアノ曲をオリジナル以上の作品に仕立て上げた、音の万華鏡「展覧会の絵」。管楽器奏者をはじめとしたオーケストラの面々にとっては、ラヴェルの職人芸に真摯に対峙し、上質な料理として提供しなくてはならない作品ばかりだ。

今、売れっ子のフルティスト、小山裕幾をソリストに迎えてのジョリヴェの作品も斬新な音響空間を作り出し、この日の「扉」からフランス音楽の一面を少しだけ垣間見ることができる。

指揮者・ソリスト・オーケストラが一体となって、白地のキャンバスにどんな色彩でフランス音楽を描いてみせるか、そしてそこから私たちは何を感じとるか。いつもとは違った演奏会体験になるに違いない。

アンドレイ・アニハーフ (指揮者) *Andrey Anikhanov (Conductor)*



リムスキー=コルサコフ記念サンクト・ペテルブルク音楽院で、歴史的な指揮者ムラヴィンスキーの高弟ドミトリエフに師事し、オペラ・シンフォニー指揮課程並びにコーラス指揮課程を修了。在学中に1987年度全ソ連青年指揮者コンクールで優勝する。1989年、ムソルグスキー記念サンクト・ペテルブルク国立アカデミー・オペラ・バレエ劇場 (現ミハイロフスキー劇場) に迎えられ、1992年に27歳という異例の若さで首席指揮者に就任。2008年に退任するまで音楽監督を兼任し、1991年から96年まではサンクト・ペテルブルク交響楽団の首席指揮者も兼任した。その他にフランス、ナントのオペラハウスで「エフゲニー・オネーギン」を上演したり、サンクト・ペテルブルク・イギリス音楽祭でロシア人では初めてブリテンの作品を指揮したりと、精力的に活動。毎年サンクト・ペテルブルクで開催されるイースター音楽祭では音楽監督を長年にわたり務めている。近年はローマ・オペラ座やノボシビルスク劇場などにしばしば客演を果たし、また、モスクワ・ポリショイ劇場では定期的にオペラを指揮するほか2010年にはユリー・グリゴローヴィチと共に新版「ロメオとジュリエット」の制作に携わった。2009年4月より東京ニューシティ管弦楽団の客演指揮者。2010年9月、ロストフ国立音楽劇場の首席指揮者に迎えられた。

小山 裕幾 (フルート) *Yuki Koyama (Flute)*

1986年新潟県長岡市生まれ。1999年第53回全日本学生音楽コンクール中学校の部第1位。2002年第56回全日本学生音楽コンクール高校生の部第1位。同年第7回びわ湖国際フルートコンクールにて高校生の部門第1位。2004年第73回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞 (オーディエンス賞)、加藤賞、吉田賞を受賞。2005年第6回神戸国際フルートコンクールにおいて日本人初の第1位受賞。日本各地でリサイタルを開催するほか、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティ管弦楽団、大阪交響楽団、神戸市室内合奏団等のオーケストラと共演を重ねる。紀尾井ニューアーティストシリーズ、東京オペラシティ「B→C」シリーズ等に出演。これまで三上明子、ヴォルフガング・シュルツ、パウ・マイゼン、堀井恵、ハンスゲオルグ・シュマイザー、オーレル・ニコレ、エマニュエル・バユの各氏に師事。2006年度第17回出光音楽賞受賞。2007年新潟県知事賞受賞。2010年慶應義塾大学理工学部卒業。2010年度、11年度、12年度ロームミュージックファンデーション奨学生。現在パーゼル音楽院 (スイス) にてフェリックス・レングリ氏に師事。



ネットでのご予約も
座席指定が可能になりました！
<http://tnco.or.jp/>

※会員登録 (メールアドレスとパスワード) が必要です (無料)。

チケット
お申込み
について

事務局チケットダイヤルでのお申込み
Tel: 03-5933-3266

※10:00～18:00 (土日祝を除く平日)

Fax: 03-6766-3782 E-mail: ticket@tnco.or.jp

●ファミリーマートで代金決済・チケット受取ができます。 ●クレジットカードでの決済も可能になりました。
●事務局よりチケットを送付する場合は送料をご負担いただきます。 ※どの場合も所定の手数料をご負担いただきます。